

# 1991年 秋季大会 プログラム

会場 ● 京都市国際交流会館  
京都市左京区栗田口鳥居町2-1  
TEL 075-752-3010

交通 ● 電 車 = 京坂京津線「蹴上」徒歩 4 分  
市バス = 5・7・32・46系統「京都会館美術館」徒歩 6 分  
東 6 ・ 東 9 「蹴上」徒歩 4 分

## (第1日) 11月16日(土)

13:30 受付開始

14:00 シンポジウム

“従軍慰安婦・キーセン観光・在日韓国朝鮮人女性”  
——1992年アジア女性会議へ向けて——

コーディネーター 船橋邦子

報 告 者 北沢杏子

柳 連淑(ユ・ヨンスク)

お茶の水女子大学女性文化センター 留学生

徐 貞順(ソ・ジョンスン)

在日大韓基督教会牧師 在日二世

17:00 終 了(夜は市内で交流会の予定)

## (第2日) 11月17日(日)

10:00 個人研究発表、ワークショップ

○富岡明美「80年代のAdrienne Rich——終りなき旅路」

○秋山洋子「私と中国とフェミニズム」

○ビデオ上映『沈黙の恨』(韓国KBSテレビ制作)

○前日のシンポジウムについての分科会

\*時間帯は当日会場にてお確かめ下さい。

12:30 昼食をとりながら懇親会(予定)

14:00 臨時総会

代表幹事制についての規約改正

16:00 閉 会

☆各日とも非会員参加費 1000 円(学生500円)です。

☆会場への案内図はニュース47号(前号)をご参照下さい。

シンポジウム、研究発表、ワークショップ、臨時総会と密度の高いスケジュールになりました。報告者の紹介、内容は今号に詳しく掲載されています。非会員の方にも積極的にお声をおかけの上、是非ご参集下さい。

「従軍慰安婦・キーセン観光・在日韓国朝鮮人女性」

——コーディネーターとして

船橋 邦子

アジア女性会議、「創り出す女たちのアジアを」の序曲として、日本に最も近く、最もかかわりの深い韓国・朝鮮、その歴史と現実に向かい合い、お互いの理解を深めたい。柳さんは韓国のマスメディアも、日本同様、男性の牙城で、それがいかに偏見と誤まった認識に満ちているかを指摘しておられる。双方のメディアがつくりあげるイメージから、解放され、私たち、日本で生活する者として「無知は最大の罪」という認識に立って、差別・人権問題を解決していくためのステップとしたい。

第二次世界大戦後、半世紀近くを経て、日本の女性の意識向上の結果として取り組み始めた従軍慰安婦の問題は、性支配構造の中で、戦争がいかに女性の性を抑圧搾取してきたか、現在もしているかを私たちに示してくれる。その延長線上にある、キーセン観光、在日韓国朝鮮人女性問題を、経験を共有することで現実への認識を深め、構造として分断されてきた女性同士がつながっていく布石としたい。

アジア女性会議は欧米中心に構築されてきた女性学に、第三世界、とりわけ日本もその一員であるアジアの視点を取り入れるというだけでなく、アジアの女性自身の手で女性学の理論の枠組みを創り出していくことを目的としている。本シンポジウムはその目的の一環である。「私のアジア、アジアの私」を見ることから、グローバル・フェミニズムへと近づいていきたい。アジア女性会議を成功させるために皆さんの参加、鋭い指摘を期待している。

戦争と性

北沢 杏子

湾岸戦争でもクウェートの女性たちは、イラク兵から強姦されている。戦争による女性への性的虐待はいつの時代にも行われてきた。しかし、天皇の軍隊による軍管理の日常的集団レイプが堂々で行われたのは日本だけだった。

「従軍慰安婦」問題には、その前史がある。日清、日露戦争、シベリア出兵がそれ。近・現代の戦争と買春、レイプの歴史に焦点をあてる。

報告者はピース・ボートの水先案内人として、釜山とソウルの女子挺身隊問題対策協議会の女性たち、買春観光に反対する会の女性たちと交流する（10月19、21、22日）。現地の女性たちの運動の実態を報告。どのように連帯すべきかをさぐる。日本軍隊の従軍慰安婦は現地調達されたから、東南アジアの被占領地域の女性たちの実情も、来年開かれる「アジア女性会議」に出席するアジアの女たちにも「ききとり」をお願いしたいと考えるがど

うだろうか。

キーセン観光——その歴史と現実

柳 連淑（ユ・ヨンスク）

お茶の水女子大学女性文化研究センターに留学中。韓国の人気漫画作家李賢世の韓国で初の女性を主題にした作品「純姫—ソウルに生きた女の物語」上・下巻（三修社）を共訳している。

韓国において公娼制度として買（売）春が定着するようになったそのきっかけは皮肉にも1876年、日本による韓国開港。またその後の1902年貸座敷業と特別料理店の集団地域化、いわゆる遊郭が釜山につくられ、公娼制度にまで発展していった。1944年には「女子挺身隊勤労法」の制定、公布により韓国の女性が兵士の「慰みもの」として強制連行された。

この歴史は、65年の韓日国交正常化を契機に日本男性による韓国観光客数が急増し、韓国政府の外貨獲得政策として、女性の性を売るキーセン観光に引きつけられることになる。

女性の性的搾取は現在に至るまで続き、現在では形態が多様化している。

このような女性の性の売買は女性の人権を認めず、「モノ」として見る家父長制の産物であり、これは韓日関係を歪めるだけでなく、性病、AIDS、性による混乱を生み出している。このような社会問題は韓国、日本の女性たちの双方による実態調査により社会問題化させ、協力して問題解決にあたっていきたいと思う。

在日韓国朝鮮女性

徐 貞順（ソ・ジョンソン）

在日大韓基督教会牧師 在日二世

在日韓国・朝鮮人（在日同胞）は日本社会においては、就職・教育・社会保障等において、日本人と同等の権利を持つことを、国籍の違いによって制限されている民族的少数者であり、社会的弱者（マイノリティ）として位置付けられる。

同時に、在日同胞女性は、韓国の儒教的、家父長的在日同胞社会において、女性であるという理由で、性差別を受ける性的マイノリティとして位置している。それ故に、在日女性は、民族と性の二重の抑圧構造の中を生きる「マイノリティの中のマイノリティ」である。

こうした状況の中で、在日女性のフェミニズムを模索する時、白人フェミニズムの限界を黒人女性が、西洋フェミニズムの限界をアジアの貧困の中に生きる民衆女性が指摘するように、日本のフェミニズムが、性と人種と階級を越える、すべての人間解放の課題を担うものとして、在日民衆女性の視点から考えてゆきたい。

☆在日キリスト教女性を中心とする活動

1. 戦後補償問題

在韓被爆者、韓国人軍人軍属補償に対する裁判支援、その他

2. 在日一世のための老人ホーム建設

土地購入完了・建物建設の準備基金運動展開、従軍慰安婦問題

沖縄における慰霊祭、裁判支援

4. 南北統一のための韓国女性運動との連帯

海外同胞女性シンポジウム企画

5. 在日法的地位問題

家族登録法の問題点研究（戸籍制度の問題性）

## 個人研究発表、ワークショップ・レジュメ

### 80年代のAdrienne Rich

——終りなき旅路

富岡 明美

今夏サンフランシスコでリッチの詩の朗読会に行った。会場であるユニテリアン教会では700人は収容出来るのだが、それ以上の800人分のチケットが売られ、しかもそのチケットは2日で売切れたという。当日もチケットを購入出来なかった人の長蛇の列でゴった返している。席は動きの取れない状態。床には次々と人が座り、座れない人は立ち、あらゆるスペースを埋め尽くす。会場に熱気が満ち、聴衆の熱い眼差しがリッチに注がれる。と同時に張詰めた緊張感が押寄せる。私はリッチのパワーを実感した。

確かにリッチは20世紀アメリカ詩の中の不動な存在となった。しかし私が実感したあの熱気と緊張感にはそれ以上のものがあつた。それはフェミニズムを生きてきた生きる証としてのリッチ、わたしたちのこれからを映し出すリッチ、に注ぐ熱い眼差しではなかったか。

彼女のフェミニズムは狭義的な理論として決して立止まることはしない。1956年までに彼女は自分の詩に年号を付けるようになったが、それは自らの長い過程の中で絶えず過去を振り返り見直し、触角を張り巡らしたカタツムリのように絶えず前進する事を誓うものなのである。彼女のフェミニズムはこのRe-Visionという主義を携えた終りなき旅路そのものである。

では、50年代には形式主義、60年代にはフェミニズム、70年代にはレズビアン・フェミニズムという道を行ってきたリッチは、80年代にはどこを旅し、私たちにどんな道標を残してくれているのだろうか。今回の発表では主に80年代の詩集 A Wild Patience Has Taken Me This Far(1981), Your Native Land, Your Life(1986), Time's Power(1989)を中心に考察していきたい。

### ビデオ『沈黙の恨』

韓国KBSテレビ1990年8月15日光復節に放映。

日本語訳とナレーション

北沢 杏子

「中日・太平洋戦に女子挺身隊の名で狩り出された韓国・朝鮮人の若い女性は17～20万人といわれ、そのなかの7～8万人が、天皇の軍隊の“従軍慰安婦”として戦場へ送りこまれました。彼女たちは日本の敗戦と共に殺

され、あるいは生還したとしても過去の屈辱に満ちた人生をひたかくしに、すべての沈黙の中に葬り去られています。」KBSのレポーターが、皇居前で訴えるところから画面は始まる。

レポーターはその足跡を求めて沖縄戦に投入された朝鮮人慰安婦、東南アジアに連行された朝鮮人慰安婦をたずねあてる。前者は面会を拒否し、後者は中国人の夫との生活をこわしたくないと黙して語らない。

千葉県、かにた婦人寮に唯一の証人として広田すず子(仮名)がいる。彼女は17才で日本人従軍慰安婦として、南太平洋戦で辛酸をなめるが、今は車椅子の身で、いかに性的搾取が苛酷だったかと訴える。朝鮮半島の挺身隊は被植民地搾取と性的搾取の二重の搾取にあい、いまでもその恨のたましいは東南アジアをさまよっています、とレポーターは語る。

### 私と中国とフェミニズム

秋山 洋子

日本と中国との関係は、アジアの他の国々との関係に比べると、とりわけ長く、それだけに重い。私にとって、大学に入って第2外国語で中国語を選んで以来の30年は、中国と自分との距離を確かめ、惹かれることと反発することをくりかえしてきた年月であったといえる。その中で革命とか友好、連帯といった言葉も、その時々で違う意味を持ったり輝きを失ったりしていった。

中国という焦点に、もうひとつフェミニズムという焦点がくわわって、私の関心領域は2つの焦点を持つ楕円のようになっている。そのことをはっきり意識したのは70年代にリブに会って以来だが、たぶんそれはもっと以前から自分の中にあつたものだろう。

アジアを語るには、あまりにも個人的なことから語ることになるかもしれないが、そこから何かをみつきたいと考えている。

### 臨時総会について

幹事会では、代表幹事制の是非について、約1年にわたり、検討を重ねてきました。その結果、会員一人ひとりの主体的な参加による民主的な運営をめざす当学会の趣旨に照らし合わせ、代表幹事をおかない方向が、幹事会の運営においても、最も適切であるとの結論に達しました。ついては、代表幹事制にかかわる日本女性学会規約第10条の改正を'91秋季大会・臨時総会で提案し、会員の皆さんにはかりたいとおもいます。当日提出予定の改正案は以下の通りです。

#### <改正案①>

第10条 幹事会の同意により幹事の中から代表幹事を選出することができる。(’90年11月17日改正)

〈改正案②〉

第10条を削除し、第11条以下を繰り上げる。

以上の2案をあらかじめご検討のうえ、11月17日の臨時総会（午後2時より）にふるってご参集下さい。

日本女性学会幹事会

◎会員の異動

と行動に向けて

- 6日 仙台市  
テーマ：語ろう、創ろう、アジアの明日を
- 7日 堺市女性団体連絡協議会  
テーマ：手をつなごう、心をつなごう、  
わたちのアジアを
- 10日 アジア女性会議広島実行委員会  
テーマ：アジア・家族・女性
- 11日 アジア女性交流・研究フォーラム（北九州市）  
テーマ：語ろう、つなごう、わたちのアジアを
- 12日 アジア女性会議おおさか準備会  
テーマ：つくりだそう、アジアの女性ネットワーク

〈分科会のテーマ〉

1. 女性と政治：政策決定過程への参加
2. 女性と教育：男女平等教育—開発教育—平和教育
3. アジアの女性学：アジア地域における女性学のネットワークづくりをめざして
4. 女性と労働：出稼ぎ労働・家事労働・家内労働
5. セクシュアリティ：強制異性愛・同性愛文化
6. 女性への暴力：人口政策・性暴力・性虐待・買春
7. 女性と開発：女性にとってオールタナティブな開発とは何か
8. 女性と表現・メディア：どのように女性は表現主体となるか

☆翻訳、アテンド等へのご協力よろしくお願いします。  
アジア女性会議実行委員会

○アジア女性会議実行委員会だより

アジア女性会議実行委員会も、もうすぐ8回目を迎えようとしています。実行委員会への出席者も回を重ねる毎に増え、議論も活発に行われています。

仙台市、横浜女性フォーラム、大阪広島の草の根グループ、堺市女性団体連絡協議会、北九州アジア女性交流・研究フォーラムの方々も毎回出席、外務省、総理府の後援も内定し、女性の国際会議としては初めてといえる運動、研究企業、行政の四者一体ですすんでいます。

4月2日から4日までの分科会のテーマは以下の通りです。事実を知るにとどまらず共同プロジェクト、共同行動プランづくりが目的です。その成果を受けて始まる全国シンポジウムのスケジュール及びテーマを御紹介しましょう。

〈会議日程〉

- 4月2日～4日 アジア女性会議実行委員会  
国立婦人教育会館
- 2日 全体会議 レセプション
- 3日 分科会 カルチャーイベント（歌、踊り、映画）
- 4日 全体会 アジア女性会議宣言文採択
- 4月5日 横浜女性フォーラム  
テーマ：アジア女性会議横浜…開発教育

編集後記

秋季大会のシンポジウムは、ご覧のように意欲的な企画です。今回もニュースがお手元に届くのは、ぎりぎりですが、万障お繰り合わせの上、是非、ご出席下さい。尚、「会員の著作」をはじめ、情報は、次号に回させていただきます。See You in Kyoto. (F, K, T)